

学科名	建築・デザイン学科					
科目名	日本語表現法応用Ⅱ					
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	後期	
必修・選択の別	必修					
担当者	村上義明					
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語の特性を正しく理解し、使うことができる。</li> <li>・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。</li> <li>・ビジネス敬語を正しく使うことができる。</li> <li>・論理的な表現とは何かを理解し、記述できる。</li> <li>・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を修得する。</li> </ul>					
日程と内容	<p>第1回(9月27日) : 講義概要および履修心得・学習方法、課題1  第2回(10月4日) : 書き言葉の技能応用・要旨  第3回(10月11日) : 書き言葉の技能応用・要約その1、課題2、3  第4回(10月18日) : 書き言葉の技能応用・要約その2、レポートの書き方、課題4  第5回(10月25日) : 書き言葉の技能発展、敬語1、課題5  第6回(11月1日) : 敬語2(敬語の種類と使い分け)  第7回(11月8日) : 敬語3(注意すべき敬語表現)、話し言葉の技能応用・相手を考えて話す、総合応用1(手紙)、課題6  第8回(11月15日) : 日本語の文章を書く1  第9回(11月22日) : 日本語の文章を書く2、課題7  第10回(11月29日) : 日本語の文章を書く3  第11回(12月6日) : 日本語の文章を書く4、総合応用2-1(自己PR)、課題8  第12回(12月13日) : 総合応用2-2(エントリーシート)  第13回(12月20日) : 総合応用2-3(履歴書)、課題9  第14回(12月24日) : : 総合応用2-4  第15回(1月10日) : 定期試験  第16回(1月17日) : テストおよび周辺分野に関する解説</p>					
成績評価基準	定期試験	50%	実技			
	臨時試験		部外評価			
	報告書・レポート		プレゼンテーション			
	課題		計	100%		
	演習	50%				
授業到達目標の達成度	到達目標はおおむね達成できた。					
反省点	受講生が多く、個別対応が行き届かなかった点が反省点である。					
来年度の計画	多様な課題を用いて、日本語運用能力について多角的に評価できるようにしたい。					
授業評価アンケートに対するコメント	自宅学習時間が少ない印象であった。レポート課題を課すなどして、今後は自宅で「日本語」を考える機会を増やしていきたいと考えている。					
履修登録者数	91名	定期試験 受験者数	86名	合格者数	81名	合格率 94%